

2022年1月25日

愛西市長 日永貴章 様

日本共産党愛西市議団  
河合克平  
真野和久  
加藤敏彦

## 新型コロナウイルスから市民のいのちを守るための 緊急対応を求める申し入れ

全国で新型コロナウイルスのオミクロン株感染が猛威を振り、毎日感染が拡大しています。愛西市では、1月の感染者が1月23日現在で159人で10歳未満と10歳代の合計は40%となりました。市内の保育園、小学校、中学校は休業、学年閉鎖、学級閉鎖となり、第6波が広がっています。

なにより市民のいのちとくらしをまもるための市の役割が重要となっています。以下の通り申し入れします。

- 1、重症化を防ぐ3回目のワクチン接種を早期、確実に行うこと。
- 2、いつでもだれでもなんどでも希望する人すべてにPCR検査・抗原検査を無料でおこない、早期に感染者を保護することにより、感染拡大を防ぐこと。県のコロナ検査無料化事業を愛西市でも受けられるよう県にもとめること。事業者が立て替えてキットを準備しているが、市の負担で準備し、配布すること。八開診療所にてコロナ検査無料化事業を行うこと
- 3、感染が拡大している保育園、幼稚園、小中学校、市関連施設の職員に対し、定期的な検査を市が行うこと。
- 4、急激に増えている自宅療養者に対する買い物支援や食糧支援、国の施策を待つことなくパルスオキシメーターの貸出などをおこなうこと。自宅療養者からの相談窓口を設置し、不安の解消に努めること。
- 5、延長された小学校休業等対応助成金について相談窓口を設置し、事業者に対する支援や、休んだ子どもの世話をする保護者への助言を行い不安の解消をすること。
- 6、保険医療体制の強化のため、保健所への人的派遣など独自の支援を検討すること。
- 7、1月末で締切となる事業者支援金の受付の延長、国保税独自減免を検討すること。
- 8、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、給食費の無償化、水道代の減免、米作臨時給付金、困っている人へ給付金など、市民のいのちくらしを守る最優先の施策を行うこと。